

平成31年3月17日
長野県司法書士会

事業報告書

1 相談会名

「司法書士による『昔の借金110番』無料相談会」

2 開催日時

平成31年3月17日（日） 10:00～16:00

3 開催趣旨

過去の借金は、借入や返済の事実関係、借入金額等が曖昧なうえ、契約書、領収書等が残っていることも稀であり、「返済すべき金額の確認」が難しいという性質があります。また長年放置されてきた借金については、法律的には消滅時効が成立していて、本来は時効の援用によって解決が図られるべきケースであることも少なくありません。

しかしながら過去の借金を貸金業者から安く買い取ったうえ、元本に高額な遅延損害金を付加して借主から回収を図ろうとする債権回収会社が存在します。そのような業者は、消滅時効が成立している借金に高額な損害金を付けて回収をはかっているなど、その事業の形態には問題があると考えられます。

突然請求を受けた側は戸惑うあまり、正当な法的主張をすることが出来ない状態で本来払うべき額以上のお金を払ったり、そもそも払う必要のないはずのお金を払ってしまうことが起こり得ます。このような事態に至らないためには、早い段階で法律家が法的助言を行うなど、事件に関与していくことが必要です。

そこで今般、過去の借金の請求を受けてお困りの方々のご相談にお応えすべく、標記の相談会を開催することといたしました。

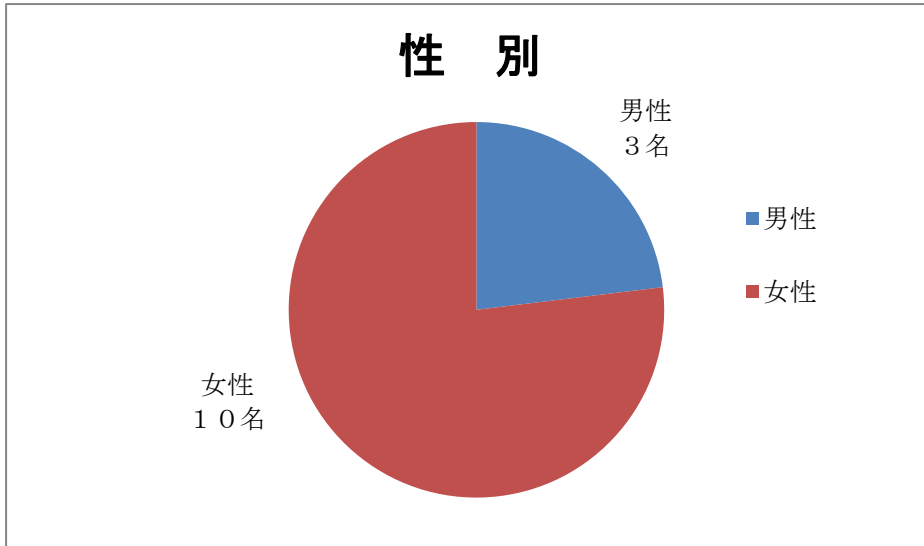
4 相談件数

合計 13件

内訳

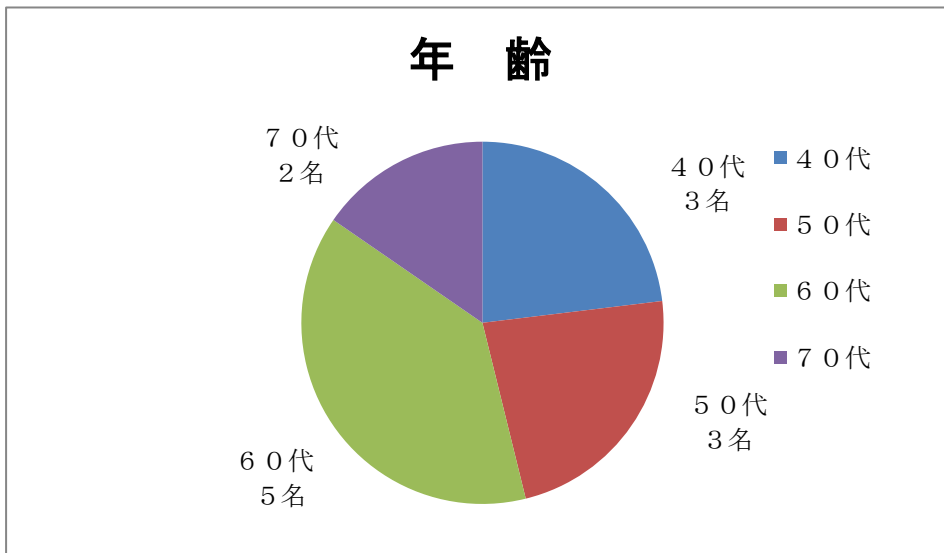
(1) 性別

男性 3名 女性 10名



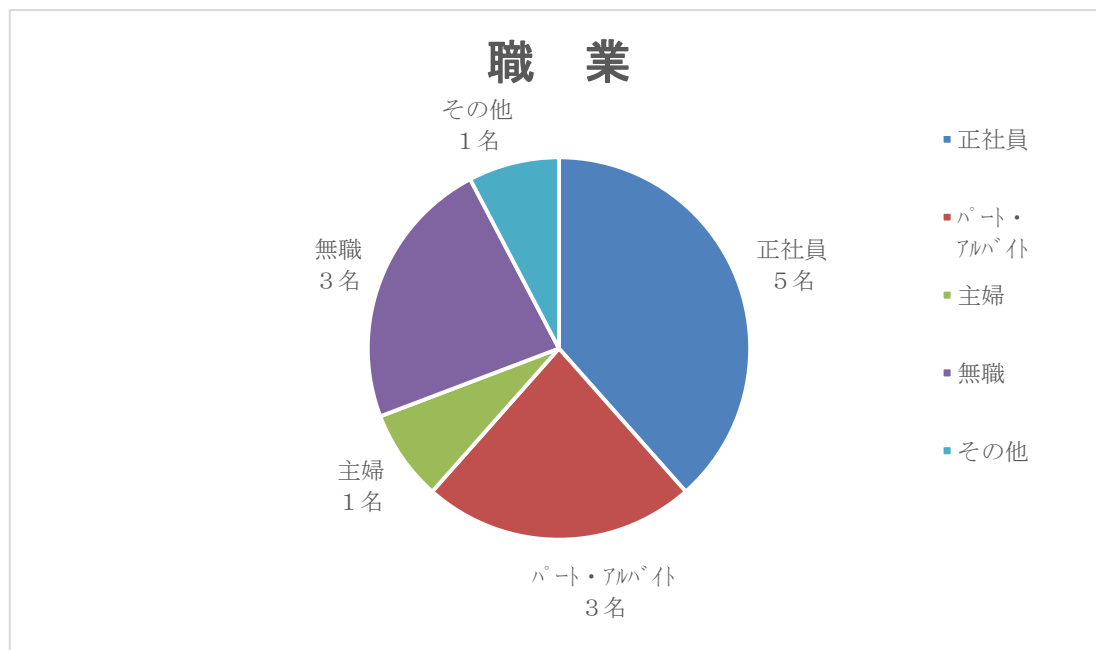
(2) 年齢

40代 3名 50代 3名 60代 5名 70代 2名



(3) 職業

正社員 5名 パート・アルバイト 3名
主婦 1名 無職 3名 その他 1名



5 主な相談内容

- 借金の時効について
- 相続財産に借金があった場合の対処について
- 過去の貸金の請求について
- 返済の過払いについて など

6 実施した感想・コメント・今後の対応

同じ時期に開催していた「その請求に困ったら」相談会を本年度はリニューアルし、初めて「昔の借金110番」というテーマで相談会を実施いたしました。

結果的に相談件数が大幅に増え、継続的相談を希望した相談者には会員を紹介することができました。

タイトルを『昔の借金110番』としたことで、「かなり昔のことなので、今までは相談しにくかった」という相談者の声に応えることができました。また、「今までずっと心の片隅にあって気になっていたことが、今日相談できて本当に良かった」という感想もいただきました。

一方、債権者側の相談者からは、「昔のことだからもう請求はあきらめた方がいいのか」、「今更こんなことを相談してもいいのか」という悩みの声が寄せられました。

消滅時効の制度自体はなんとなく知っているという方でも、その多くがどこにも相談できずにあきらめてしまっている傾向がうかがえます。消滅時効は法律で規定されている制度ですが、昔の借金がいつも頭を離れない方の気持ちや、返済されない借金

で悩んでいる方の思いに、消滅時効はないのだと実感しました。

私たち司法書士はこのような方々の悩みに寄り添い、少しでも心が救われるような支援をしていかなければならないことを強く感じた相談会でした。

7 相談会の様子

